

今冬の雪の事故、すでに重傷8件

今冬の雪による重傷事故の発生日、発生場所、事故概要（1月16日現在）

発生日	発生場所	年齢	性別	事故概要
12月12日	柿崎区	53	男	除雪機で指を切断。
12月14日	浦川原区	68	女	除雪機の回転刃に足が接触し負傷。
1月12日	谷浜・桑取区	54	女	除雪作業中に転倒。
1月13日	直江津区	54	男	排雪車の誘導中、転倒。
1月13日	谷浜・桑取区	30	男	除雪機の回転刃で負傷。
1月14日	板倉区	65	男	雪下ろし中、はしごに滑り、足をひねる。
1月14日	板倉区	78	男	屋根の雪下ろし作業中、転落。
1月15日	和田区	44	男	雪下ろし中、屋根から落下。

上越市が明らかにした情報によると、今年も除雪作業中などの事故が多発しています。1月16日現在、市内で発生した人的被害は、重傷が8件、軽傷が3件となっています。重症事故のうち3件は、屋根の雪下ろし中に転落したものです。除雪機に詰まった雪を取り除こうとしたり、除雪機の前にある障害物をどかさうとしたりして回転刃によりケガをしたケースも3件にのぼっています。除雪作業中に滑って転倒し、ケガをしたものは2件あります。

17年度はそれに次ぐ発生件数となりそうな状況となってきました。屋根の雪下ろしするときや除雪機を使用する場合は、十分注意して作業をしてください。いまのところ、住家、非住家とも建物被害は発生しておりません。

DMOで市役所職員さんなどと意見交換会

10日の午前は、市議会のDMO検討勉強会でした。この日は市役所の観光振興課幹部や創造行政研究所の研究員などと意見交換をしました。

このなかで、観光やDMO（観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人）については市民の暮らしをどう守っていくか、地域づくりをどうすすめていくかという視点からの接近が重要であること、広い市域の中で観光資源の「見える化」が大切となっていることなどの意見が出されました。

短い時間ではありましたが、率直な意見を出し合うことが出来て、良かったです。行政側とこのように意見交換会、議会の審査とは別に時々やりたくなくなりました。



私もこの日は先日訪問した板倉区寺野地域の特産の山菜オードブルを食べた時のことや笹寿司、長年にわたり撮り続けている野の花のことなどを例に挙げながら、観光資源の「見える化」が大事になってきていることなどの意見を出しました。



【サクラソウ】サクラソウ科の多年草。漢字で「桜草」と書きます。野で見るとはまれ、古典的園芸植物として、あちこちで栽培されています。花言葉は「青春の喜びと悲しみ」。写真は柿崎区上金原にて撮影。

自治基本条例の見直しに関して所管事務調査

総務常任委員会は15日午前、自治基本条例の見直しについての所管事務調査を行いました。担当の部課長から見直し検討委員会での検証状況について説明を受けた後、若干の質疑を行いました。



このなかで私は、国宝の太刀購入問題での情報の取り扱いなどを例に挙げながら、条例に基づいて市政運営がどうであったかをしっかりと検証する必要があると訴えました。課長は担当部でそれぞれ整理して議会に報告すると答えました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1841 2018.1.21
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第四八九回

待合室にて

三か月に一回の割合で病院の眼科にかかっている母。私は会議などが入っていない限り、母を車に乗せて病院に行っている。もちろん送迎だけでなく、手続きや診察などに付き添います。

先週の火曜日は今年初めての通院日でした。通院の日は懐かしい人と再会したり、母から昔話を聞いたりとけっこう楽しみがあります。この日は待合室で興味深い出来事がありました。

この日は午前一〇時の予約でした。眼科の受付カウンターで手続きを済ませて、待合室へ行ったときのことです。検査室の前のイスが一人分だけ空いていましたので、母からそこに座ってもらい、私は母の背側のイスに腰掛けました。

母が座って一分も経たないうちに、母の左隣に座っていた七〇代後半とおぼしき女性が母に声をかけてきました。

「おばあちゃん、どこからきたの？」

「吉川町からです」

「遠くからですね、柿崎の方でしょ？」

「はい、あなたはどこでいになったのですか？」

「市内です」

「市内？ どこですね」

「港の方です。風が強くてね」

あとでわかったのですが、この女性は港町で一人暮らしをされているMさんでした。二人とも耳が遠く、二人の会話はけっこう大きい声でした。私にもよく聞こえました。二人の会話はどんどん進みます。

「おばあちゃん、いくつでいなんの？」

「九四です」

母の答えを聞き、目の前を歩いていた母の姿を思い出し、Mさんはびっくりされたのでしょうか。すぐに、Mさんは、

「まあ、歩かれていいですね」

と言いました。母はそれにもとに答えず、自分がいま一番気になっている事を言いました。

「フキント、出るがですわ」

「おばあちゃん、歩いて採りに行きなると？」

「はい、歩いて採りに行くがです」

「まあ、そりや、えらいもんですね」

この会話を聴いていて、笑ってしまいました。最近、フキノトウを採ってきたことをまだ聞いていなかったし、そう遠くまで歩けるわけがない。「ま、ばちやの一番得意分野の話だからいいか」そう思いながら、引き続き聴きました。

「あくだしして、食べるんです」

「おかずになるから家の人も助かるわね」

「そいがです」

母はうれしそうに語っていました。そして、振り返って見ると、Mさんはメガネをかけておられ、眉はきれいに書かれています。鍬（くわ）を持ったり、山菜採りに行くような感じの女性ではありませんでした。Mさんは話題を換え、「私、終わったら、あるるん畑に行くんですわ。揚げたかき餅売ってるの」と言いました。

あるるん畑はこのところ、母にとって大事な買い物場所のひとつです。かき餅を売っている場所が目につくのでしよう。

「ちやじよつべにいいわね」

母の言葉にまた笑ってしまいました。

二人の会話では、それぞれ農村部と市街地に住む二人の暮らし方の違いが時どき出てきて、言葉づかいも違いました。

この日も診察が終わってから、あるるん畑に寄り、家に帰りました。台所に行ってみて、私は驚きました。水の入ったボールにフキノトウが十数個浮かんでいたからです。母は家の周りで採っていたのでした。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	1月10日(水)	1月17日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.057	0.053
新井消防署	0.050	0.043
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.050	0.067
東頸消防署	0.040	0.047
高士分遣所	0.050	0.040
名立分遣所	0.057	0.050



切り絵作家・西山英夫さんの作品が直江津は石橋の食堂「あひる」(電話545-9898)に展示されています。

先日、お昼の定食を食べに出かけたら、ちょうど西山さんと再会し、展示されている作品のことや今年の個展のことで話ができました。

左の作品は正月らしさたっぷり。大きな火鉢のなかで餅を焼いているおじいさんと裁縫をしているおばあさんなどが描かれています。

西山さんの作品は忘れかけた遠い日の思い出を蘇らせてくれます。

7日から15日にかけて市内各地で五穀豊穡、無病息災を祈って「サイの神」行事が行われました。

今年はめずらしく地元町内会だけでなく、他の町内会のものも見せてもらいました。いずれも天候に恵まれ、煙の上がり方などで判断すると、願いは間違いないようです。右上の写真は吉川区東田中、右下は吉川区町田でのスナッフです。町田ではフライパンで焼いた餅をゴ馳走になりました。フライパンを使った餅の味はなかなかのものでしたよ。

